

2019年12月27日

H.I.S. SUPER 電力株式会社

放送された番組内容の補足に関して

12月20日に放送されたNHK BS1 スペシャル「大火災 森林・都市を襲うメガファイアの脅威」の番組内で弊社発電事業が紹介されました。番組内では触れられなかった点について、以下の通り補足させていただきます。

CO2 排出量について

番組内では弊社回答が次の通り紹介されております。

『 パーム油発電の持続可能性について尋ねた質問状に対し、H.I.S. SUPER 電力はこう回答している。
“パーム油発電は数多くの前提や仮定条件の組み合わせ次第ではCO2 排出量が石炭火力の排出量よりも少ないという試算もある。”
“石油や石炭からパーム油などの植物油に切り替えることは、地球規模の環境課題に対しプラスに働くと考えております。” 』

弊社は次の通り回答差し上げております。

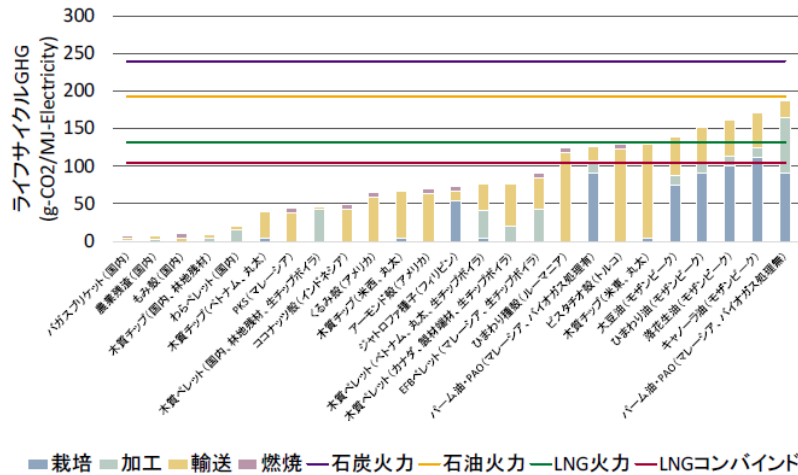
『 2015年のInternational Institute for Applied Systems Analysis (IIASA) のGLOBIOMによるシミュレーション結果※1を基にしたご質問だと思われませんが、パーム油生産過程におけるCO2 排出量の算出は、数多くの前提や仮定条件を組み合わせで算出されており、前提や仮定条件が少し異なるだけで、シミュレーション結果は大きく変わります。

※1 https://ec.europa.eu/energy/sites/ener/files/documents/Final%20Report_GLOBIOM_publication.pdf

2019年4月18日に経済産業省で行われた「第1回 総合資源エネルギー調査会省エネルギー・新エネルギー分科会 新エネルギー小委員会・バイオマス持続可能性ワーキンググループ」で、経済産業省資源エネルギー庁の報告資料では、パーム油を含む全ての植物油が石油・石炭に比べ温室効果ガス排出量が少ないとの調査結果が示されています。

数多くの前提や仮定条件の、組み合わせ次第ではCO2 排出量が石炭火力の排出量よりも少ないという試算もあるのが現状です。

図表 90 化石燃料燃焼時の GHG 排出量との比較（発電効率 30%）



(出所) 複数文献に基づき三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング作成

石油や石炭からパーム油などの植物油に切り替えることは、地球規模の環境課題に対しプラスに働くと考えております。』

RSPO 認証油について

番組内では RSPO 認証は原生林の開発を伴わない、火災を起こさないなど環境面への配慮に加え、児童労働をさせないなど、持続可能な方法で生産された商品に与えられており、日本企業でも RSPO 認証油普及拡大のための取り組みや活動が行われていると紹介されております。

弊社は RSPO 認証油について次の通り回答差し上げております。

『弊社も、インドネシア、マレーシアにおける環境への配慮を欠いた乱開発や児童就労や奴隷労働など社会的配慮を欠いた、パーム油生産は賛同しかねます。

弊社が使用するパーム油は、原生林の伐採禁止／泥炭地の開発禁止／プランテーション内の野生生物の保護／地域住民の土地と地権の保護／公正な労働条件などが約束された、RSPO の認証油を使用します。』

※ 政府が実施する再生可能エネルギーの固定価格買取制度でも RSPO 認証油の利用が義務付けられております。

詳しくは弊社 HP の「2019.12.20 NHK BS1 スペシャルの取材依頼に対する弊社回答全文 (PDF)」をご覧ください。

https://www.his-power.jp/pdf/NHK_answer_sheet.pdf